



RI 第 2 6 1 0 地区

井波庄川ロータリークラブ会報

2008-09年度 No.16 10月22日発行

事務局 〒932-0211 富山県砺波市庄川町示野 121 リプロ内

TEL&FAX 0763-82-4318、inashorc@athena.ocn.ne.jp

2008-09 年度 会長 小西 勝、幹事 高瀬 顕正

2008-09年度 RI テーマ



「夢をかたちに」

(李東建会長)

例 会 記 録

第 1 4 4 5 回例会

平成 2 0 年 1 0 月 1 5 日(水) 井波文化センター

1. 点鐘 小西会長
2. ソング「奉仕の理想」
3. ゲスト卓話紹介：北島秀一郎氏（元県議会議員）…
紹介者：横川正希会員
4. ビジター：吉江康幸君（南砺RC）



5. 会長の時間…「ゲストの北島さん、ようこそ。後ほど卓話をよろしくお願いいたします。先日、安田ガバナ補佐から電話があり、次期ガバナ補佐を井波庄川RCでどうですか、と問い合わせがあり、去年の今ですから、会長の独断で、丁重にお断り申し上げました。それでは、順番に射水RCへお願いするということでした。ロータリーの友 10月号を読んでいましたら、三島西RCの話が載っており、そ

こは親睦一座という劇団を持っており、多彩な活動をしております。最新作として、『ウエストサイズ物語』という洋物に挑戦する、いわばパロディです。

（ここを友【10月号縦書 p. 10-11】の朗読）劇団『はぐるま』も何か活動を考えて頑張らねばと考える次第です。」

6. 幹事報告…「①砺波RCから、11月29日（土）午後、奈良・薬師寺管主安田暎胤（えいいん）師を招き、『美しい日本の将来を考える』をテーマに講演会と対談を、砺波市文化会館で開催すると案内があります。是非、出席をよろしくお願いいたします。入場整理券 10 枚ありますので、先着順にどうぞ。②斉藤彰会員より、新米を頂きました。帰りに 1 袋づつ、お持ち帰り下さい。③当例会場の文化センターより、利用各団体宛に、『後片付け』徹底のお願いがきております。」

7. 委員会報告…①宮崎親睦委員長：和倉温泉と、辻口博啓美術館（砂糖の芸術作品の展示）を観光します。②社会奉仕「南砺の山々を守る会」（河合会員）：今年は秋にも活動します。10月26日、午前10時半から城端・桜が池で、3年前に植えた木のメンテナンスを行います。井波庄川ロータリークラブの名義を借りてあります。皆様、是非お越し下さい。【案内文書配布】③出席委員会(代理)：25名中16名出席(出席免除者7名中5名出席)・・・出席率69.96%

8. ニコニコBOX(助田 SAA : 本日 5 名 10,000 円)

北島秀一郎氏 : (謝礼寄付・有難うございました。)

小西会長 : 北島さん、ようこそ。斉藤さん、お米感謝。

高瀬幹事 : 北島さん、ようこそ。

山本会員 : 北島さんようこそ。斉藤さん、お米有難う
ございます。りんごも期待しています。

助田 SAA : 北島さん、ようこそ。卓話よろしく。

(10 月計 26,000 円 : 年度累計 151,000 円)

9. ニコBOX-DX(現物篇)

斉藤彰会員 : (新米を頂きました。)



卓話「雑感」 北島秀一郎氏

(紹介者) 横川正希会員 : 先週、次回の卓話が誰かと思い確かめたら私でした。あわてて探しましたが、頼れるのは友達、北島秀一郎さんに頼みました。北島さんは同級生です。ご承知の通り、県議を 5 期勤められ、現在は「ぬく森の郷」の社長です。



北島氏 : 私は若くして地元の区長をし、人の世話を経験しましたが、39 歳のときに、

町議になり、議員生活を始め、この 2 年前まで 20 年間県議を務めました。その間、バブルの崩壊や金融システムの崩壊など、県政にとっても重大局面がいくつもありました。当時の中沖知事に、いわゆる『箱物』の計画がいくつもあり、辛口の私は、歴史観を見ないと失敗しますよ、と苦言を呈しました。すべてのものは輪廻があり、バブル期も時間がたつと終焉しました。戦後 63 年、新しい時代を構築する時期です。綿貫さんが反対された郵政改革、小泉改革は水の流れを中央から地方へということで、古いものを壊し新しいものを構築すると謳い実施されましたが、これからが本当の新しい 21 世紀になるでしょう。

私は、議員というバッジをつけて、自分を見つめてみました。「何のために生きているのか」自分の立場には、何か訳がある・・・人生は、どこかで再び生きよう、青虫のように、いつかは蝶に脱皮しようと、しなければならないのでは・・・と。

20 世紀社会は、いい大学を出て、いい会社に入り、いい官公庁で、自分の立場を貫けばいい給料をもらい、満足していました。全て自分の立場しか考えないと言う、戦後社会の付けが回ってきて、段々、知識だけを持って人を動かそうとしても、うまくいかない時代が来ています。人のためになる、世のためになる役人少ないのは、戦後教育の誤りなのでしょう。

『Education : 教育』という言葉は、人の能力を引き出すということです。戦後教育は逆に、詰め込みだけで、自分中心の社会を形成させたに過ぎません。今こそ、ロータリーのように、奉仕の精神を教えることが必要です。

私は、「ぬく森の郷」を任されましたが、当時、2000 万の借金を抱えておりました。従業員に、朝夕の 2 回の挨拶をし、毎回、自分の気付いたことを話をしてもらい、自

分が雑感を述べています。自分が幸せでない人と人が幸せにならないという考えを従業員に持ってもらおうよう話をしています。働くと言う目的は、自分のためでなく、お客様が幸せになるためで、それには自分が満足していないといけません。

経営とは、縦糸をつむぎ続けることで、縦糸とは、世のため、人のために何ができるか考え、営むことです。私の場合、お客様に気持ちよくお風呂に入ってもらい、満足して帰っていただかれたかをわかるようになることで、そのためには、トイレ掃除やスリッパ揃えから始めました。

北島家の先祖は、出雲の出身で、私で25代、その昔、五百数十年前、蓮如上人と一緒に布教のため、大和から奈良そして福光にやってきました。代々、『世の中の事を正しく見る目』を養い、私も中沖知事とは一線を画しました。何が正しいかを見極めねばならないし、時代のあり方を次世代に伝えて行かねばなりません。そのためには、自分というから殻から脱皮して、これからの世の中を作っていく必要があります。自民党から出て国民新党を作られた綿貫先生を応援するのも、この考えからです。

21世紀は、地球と共生していかなければなりません。そのためには自分自身が変わらねばなりません。先祖からの教で、「何のために生きているのか。」を考え、人のためになるために、しっかりと縦糸をもった生き方が大事と考えています。「心を乱高下させない」よう、努めています。

昨今の、南砺市長選に向けた動きを大変憂慮しています。市長の仕事は執行権だけでなく人事権もあり、この時期人心が乱れるような動きは世の中の乱れに通じ、嘆かわしいです。某市議さんはもう1期待つか、時期を選ぶことができなかったのでしょうか。その意味で砺波市の上田さんはいろいろ配慮されています。

癌という病気は、自分の思いがつくるといいます。女性が乳癌になるとき、右側にできるのは、心の使い方ができすぎて、定年離婚する人、つまり常に旦那さんに不満を持ち続けた人、左側にできるのは、半年前に精神的に強い苦痛を受けた人です。

棟方志功は、城端別院で真宗の話を聞いて、目が開いた(心眼が開いた)そうです。思いがとれたそうです。思いとは永遠に生きつづけることが多く、我々人間は、母が胎内に居て、つわりがあるのは、母の思いが入るからです。生まれて心が動き、五感に振り回され、思いに蓋をされます。しかしその蓋が取れたら、そこにある魂が現れます。いい魂になるよう、魂を磨く必要があります。

ロータリーの皆様は奉仕を正しい眼でみて実行していった下さい。本当の仕事をしたい、人生を生きたいという人は『脱皮』をしないと いけません。自分があと1年で死ぬと言われたら、怖いと思う人は、目標を実現していない人で、それらを思い残すことが無く、あの世にいける人は幸せな人です。蝶のように脱皮をして仕事に当たってください。

【要約：山本】多少の意識はご容赦下さい。

【編集後記】

今回の北島元県議会議長の卓話は大変、ためになりました。人間には、いつの日か必ず転機が訪れます。そこをどのように進むかは、その人のその後の人生に大きく影響することでしょう。そこを乗り切る術は、人それぞれのそれまでの経験から判断されると思いますが、北島先生は「脱皮」という言葉で表わされました。「人生、2度生きる」つまりは、「死んだ気になれば何でもできる」、「身を捨ててこそ、浮かぶ瀬もある」、先人はいいい言葉を残しておられます。小生はまだ未熟、今後のご指導をよろしくお願いします。（山本武夫）